

令和5年度 市政世論調査

報告書 概要版

この報告書概要版は、令和5年7月18日～令和5年8月1日にかけて実施した「令和5年度市政世論調査」の主な結果をまとめたものです。

< 目次 >

I. 調査の概要	1
II. 調査回答者の属性	2
III. 調査結果	4
1. 暮らしや居留意向について	4
2. 越谷市への愛着度と魅力発信について	5
3. 広報について	6
4. 市内の公共交通について	8
5. 景観（風景）について	9
6. 参加と協働のまちづくりについて	10
7. 公共施設の今後のあり方について	11
8. 地場農産物や地産地消について	12
9. 人権全般に関する意識について	13
10. 男女共同参画について	14
11. 平和事業について	16
12. 市民相談や法律相談などの各種相談窓口について	17
13. 地域医療体制について	18
14. 路上喫煙について	19
15. 健康保険が行う健診について	20
16. 介護サービスについて	21
17. ケアラー・ヤングケアラーについて	22
18. 防犯対策について	23
19. スポーツ・レクリエーションの実施状況について	24
20. 越谷市の施策について	25

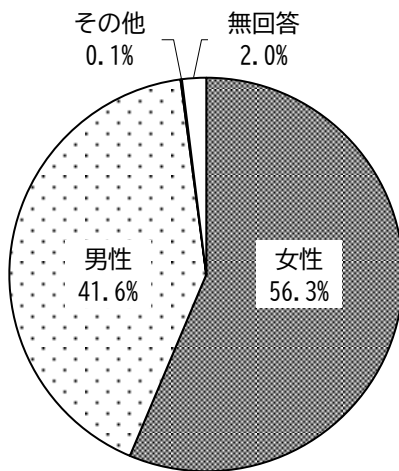
I. 調査の概要

- ◆ 調査地域 : 越谷市内全域
- ◆ 調査対象 : 市内在住の18歳以上の男女5,000人
- ◆ 抽出方法 : 住民基本台帳より無作為抽出
- ◆ 調査方法 : 郵送法（郵送配布・郵送回収またはインターネット回収）
- ◆ 調査期間 : 令和5年7月18日～令和5年8月1日
- ◆ 回収結果 : 有効回収数2,529人 回収率50.58%

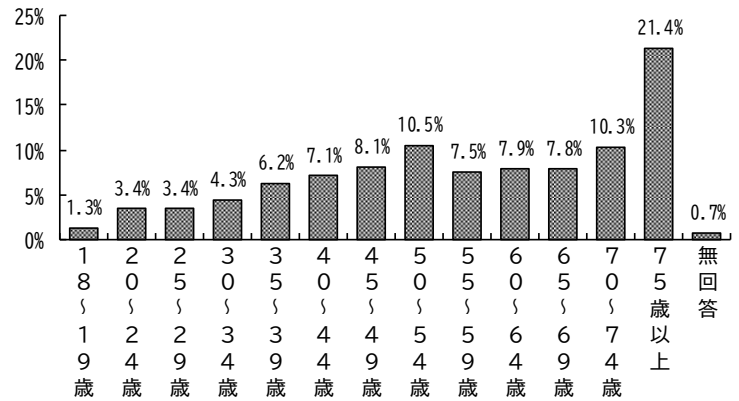
II. 調査回答者の属性

回答者の属性は以下の通りである。

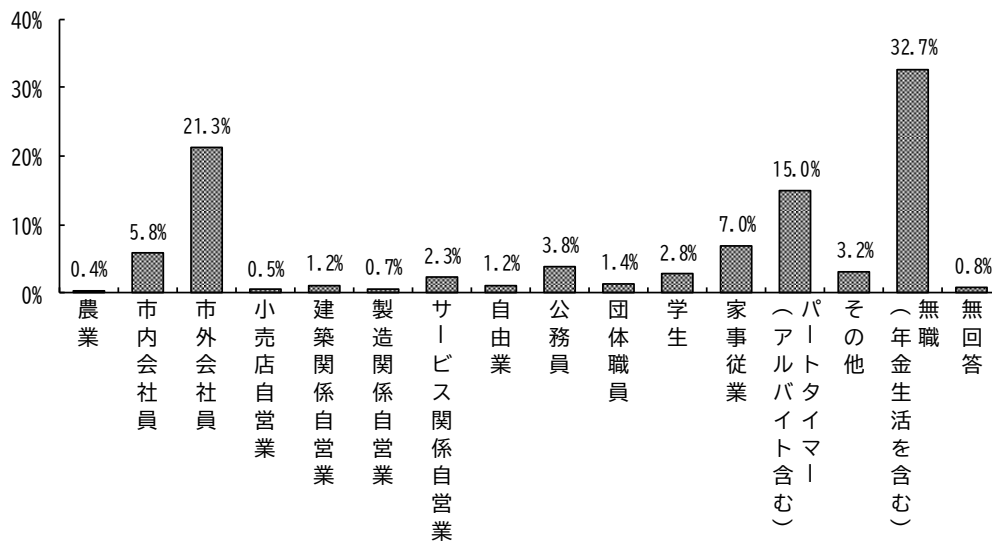
◆性別 (n=2,529)



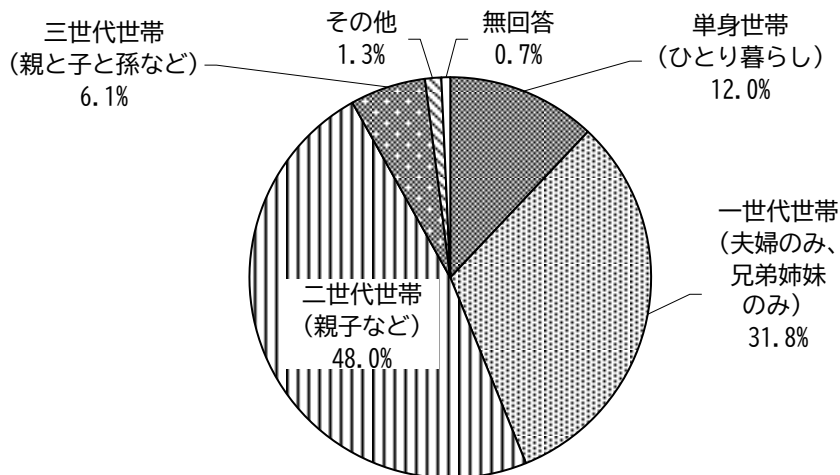
◆年代 (n=2,529)



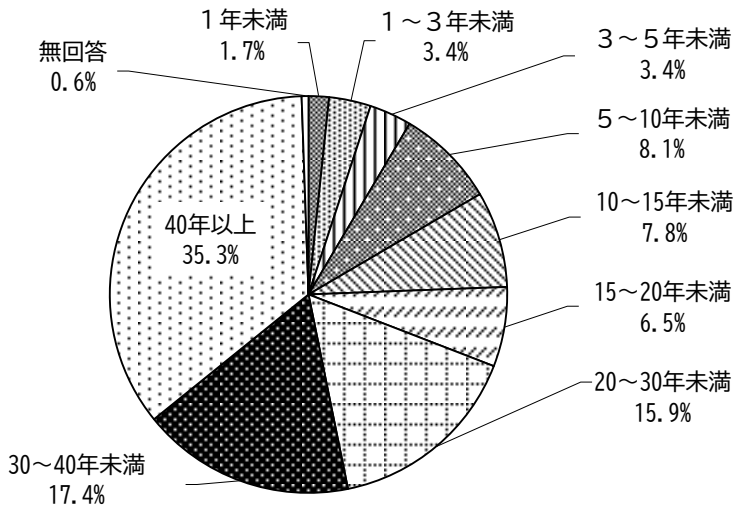
◆職業 (n=2,529)



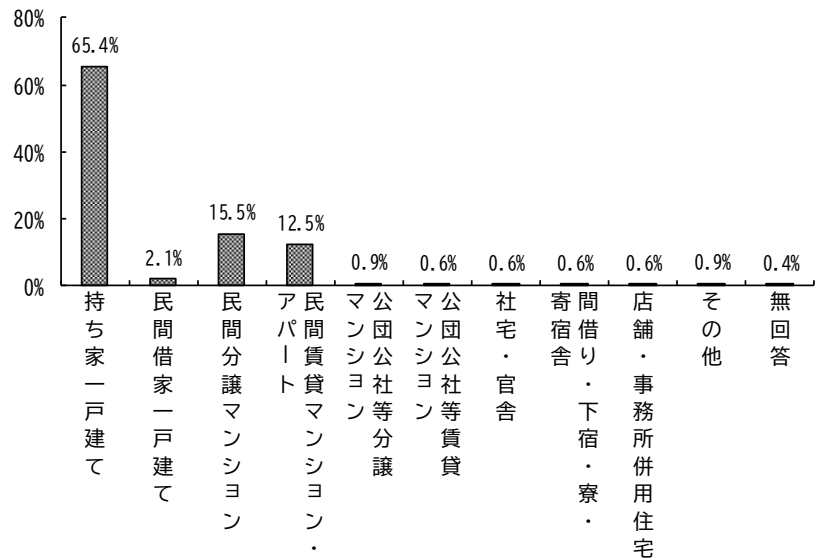
◆世帯の状況 (n=2,529)



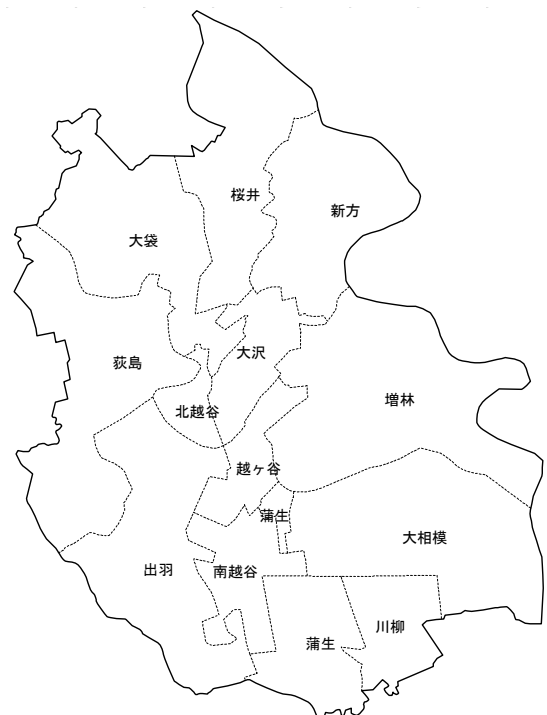
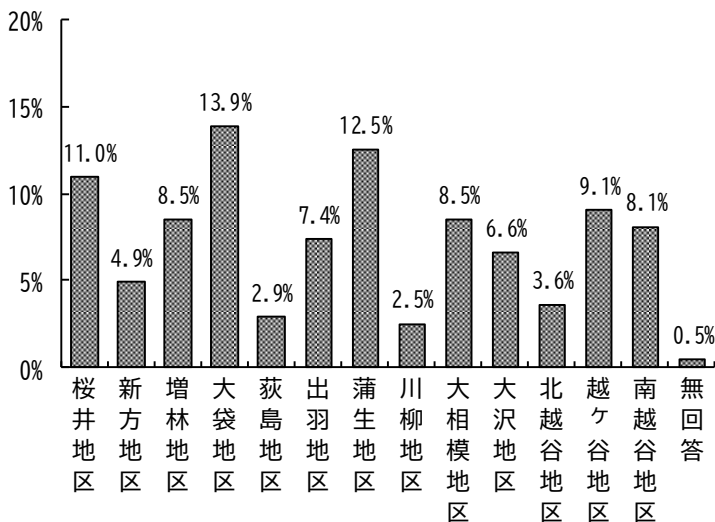
◆居住年数 (n=2,529)



◆居住形態 (n=2,529)



◆居住地区 (n=2,529)



Ⅲ. 調査結果

1. 暮らしや居留意向について

- 現在の暮らし向きには『満足』（「十分満足している」と「十分とはいえないが、一応満足している」の合計）が5割半ば。
- 『定住意向』（「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計）は7割半ば。
- 『転居意向』（「どちらかといえば引っ越したい」と「引っ越したい」の合計）は1割半ば。その主な理由は、「交通の便が悪いので」が1割強で最も多い。

図 1-1 現在の暮らし向き (n=2,529)

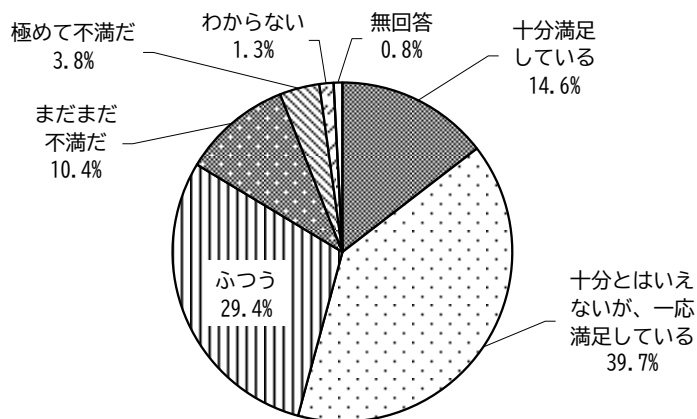


図 1-2 居留意向 (n=2,529)

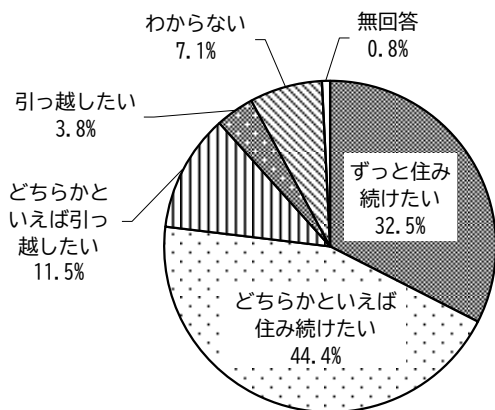
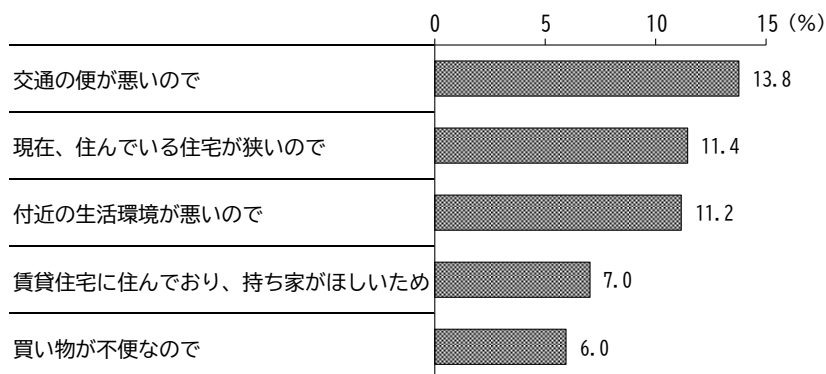


図 1-3 転居意向の理由 (上位 5 項目) (n=385)



2. 越谷市への愛着度と魅力発信について

- 越谷市への愛着は、『愛着がある』（「とても愛着がある」、「愛着がある」、「やや愛着がある」の合計）が7割半ば。
- 愛着がある理由は、「日常生活における買い物が便利」が5割半ばで最も多い。
- 市外の知人に「越谷市の魅力」として言われたことがあるものは、「交通の利便性がよい」が約3割で最も多い。

図 2-1 越谷市への愛着 (n=2,529)

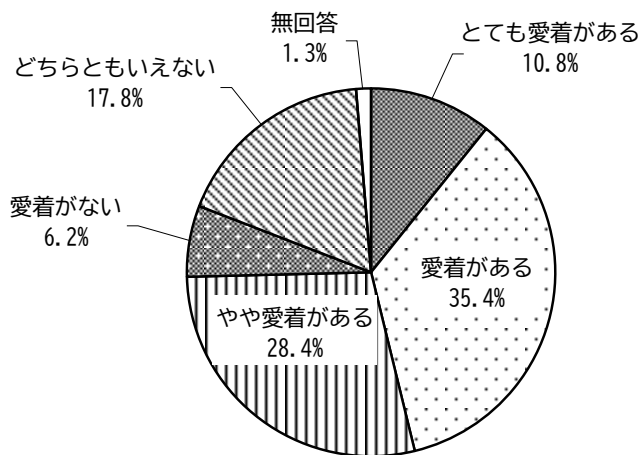


図 2-2 愛着がある理由 (上位 5 項目) (n=1,887)

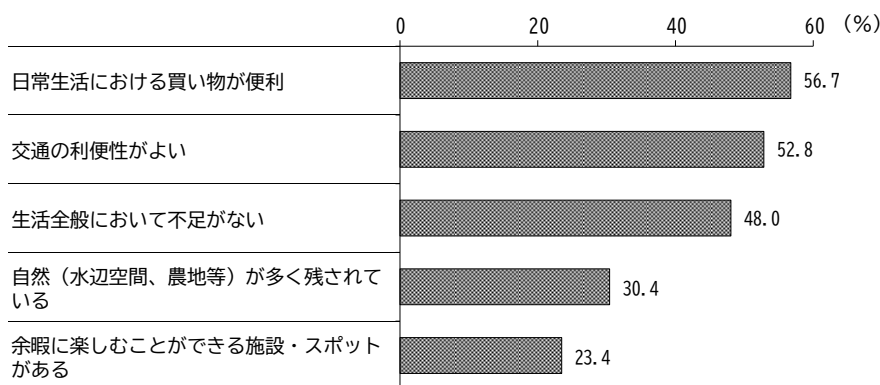
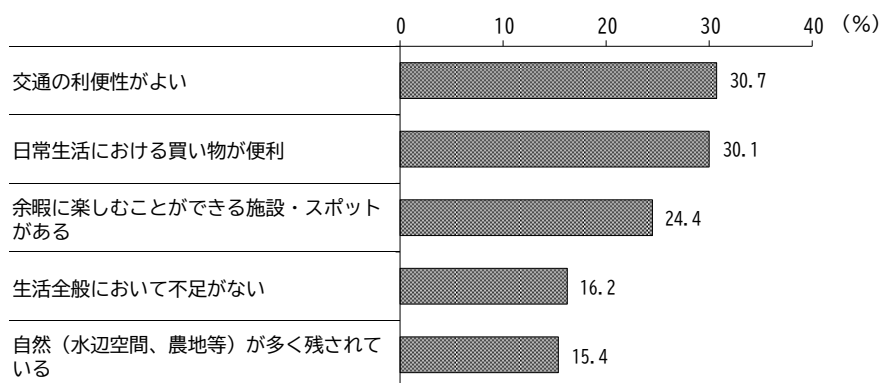


図 2-3 市外の知人に「越谷市の魅力」として言われたことがあるもの (上位 5 項目) (n=2,529)



3. 広報について

- 市政情報の入手先は、「広報こしがや（自治体広報紙アプリマチイロを含む）」が5割半ばで最も多い。
- 市政情報を得る手段として『知っているもの』は、「広報こしがや（紙媒体）」が8割弱で最も多い。
- 市政情報を得る手段として『活用したことがあるもの』は、「広報こしがや（紙媒体）」が4割強で最も多い。
- 広報こしがやの感想は、『わかりやすい』（「わかりやすい」と「おおむねわかりやすい」の合計）が約8割。
- 広報こしがやでわかりにくい点は、「記事の配置」、「文字が多すぎる、図が少ない」、「文字の大きさ」、「情報が不足している」など。
- 紙媒体の広報の必要性及び配布方法は、「今までどおり、自治会を通して配布すればよい」が約4割で最も多い。

図 3-1 市政情報の入手先（上位 5 項目）（n=2,529）

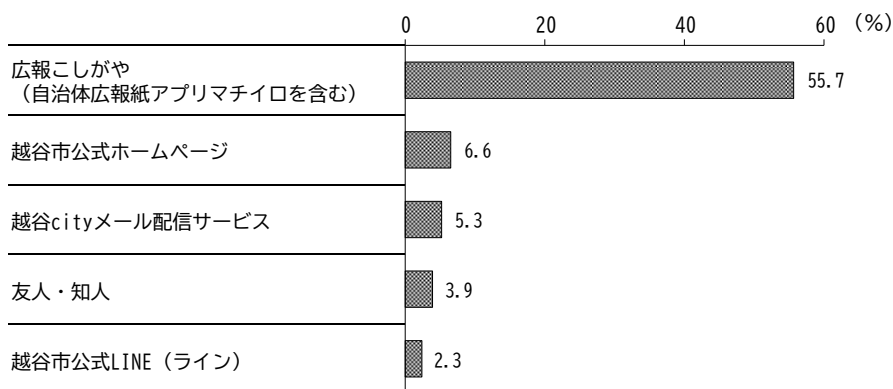


図 3-2 市政情報を得る手段として『知っているもの』（上位 5 項目）（n=2,529）

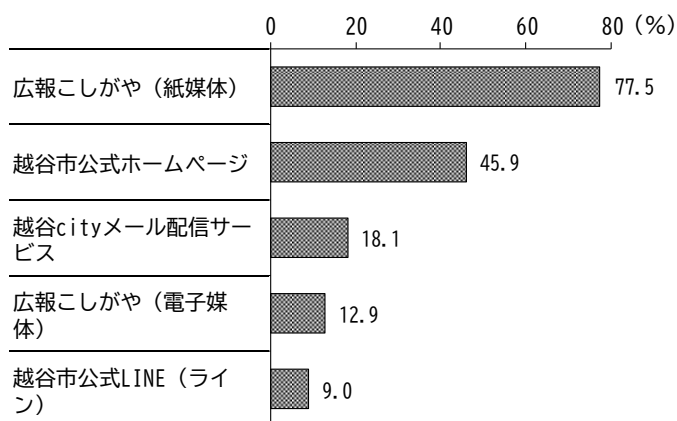


図 3-3 市政情報を得る手段として『活用したことがあるもの』（上位 5 項目）（n=2,529）

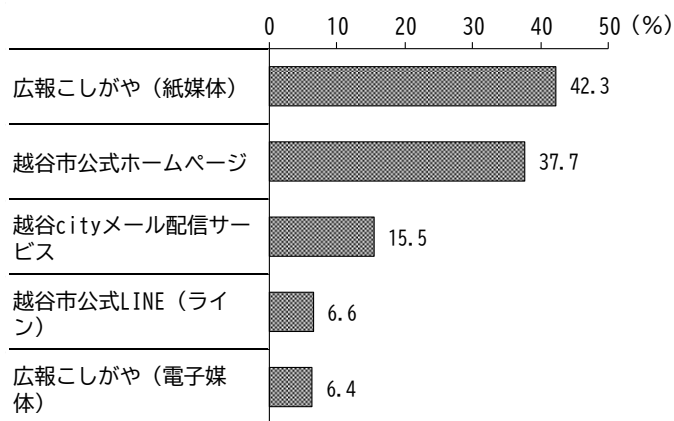


図 3-4 広報こしがやの感想 (n=1,106)

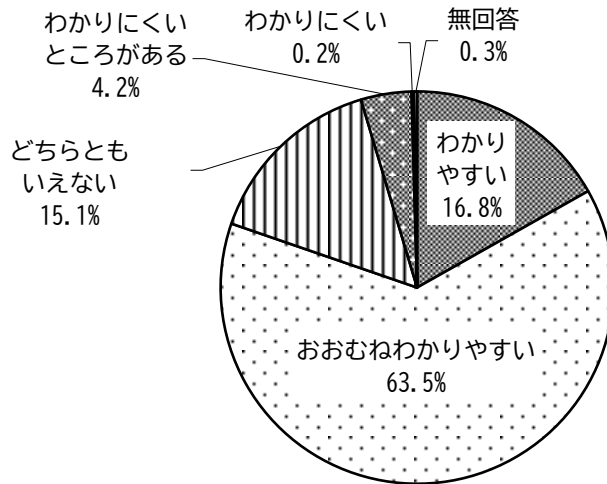


図 3-5 広報こしがやのわかりにくい点 (上位 5 項目) (n=48)

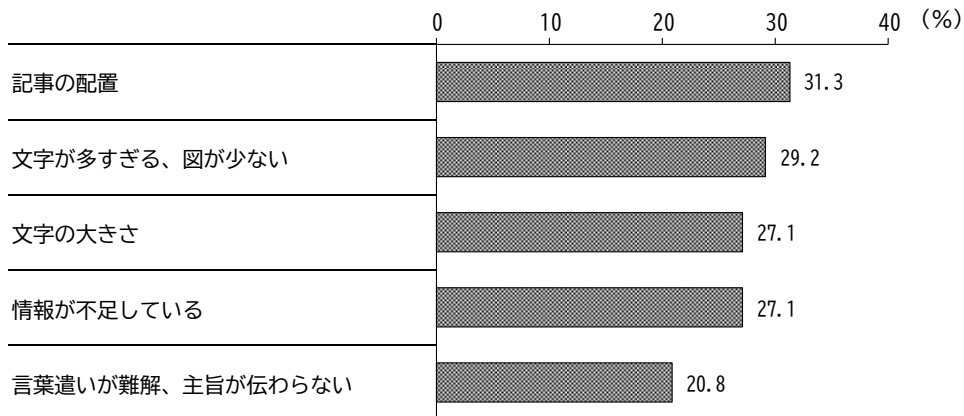
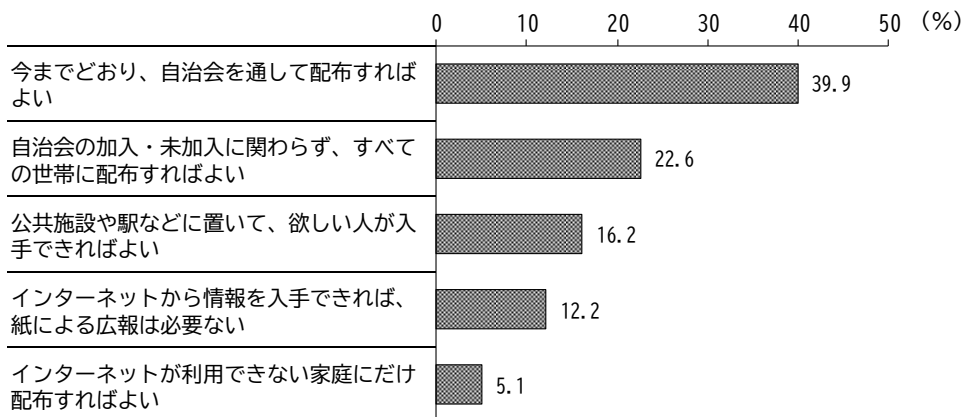


図 3-6 紙媒体の広報の必要性及び配布方法 (n=2,529)



4. 市内の公共交通について

- 公共交通の利用状況について、鉄道は「たまに利用している」が約3割、バスは「全く利用しない」が約4割、タクシーは「全く利用しない」が5割弱で最も多い。
- 公共交通の満足度について、『満足』（「とても満足している」と「やや満足している」の合計）は鉄道が8割半ば、バスが5割強、タクシーが5割半ば。

図 4-1 公共交通の利用状況 (n=2,529)

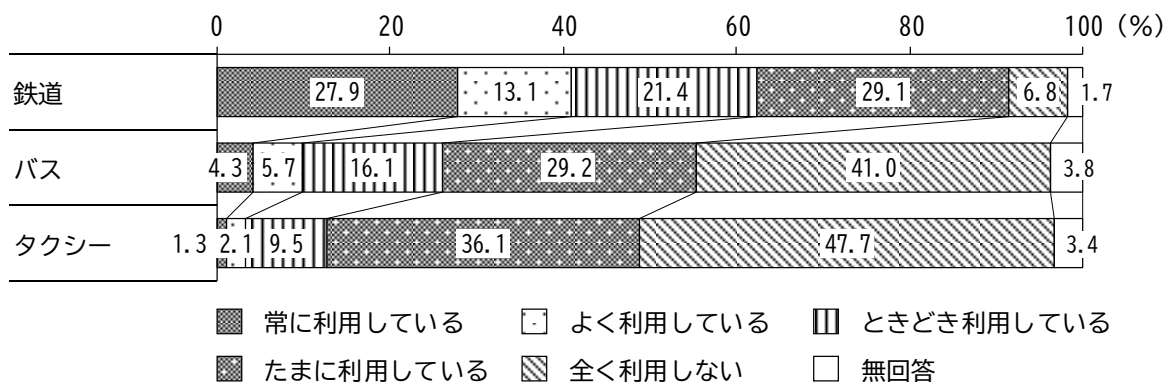
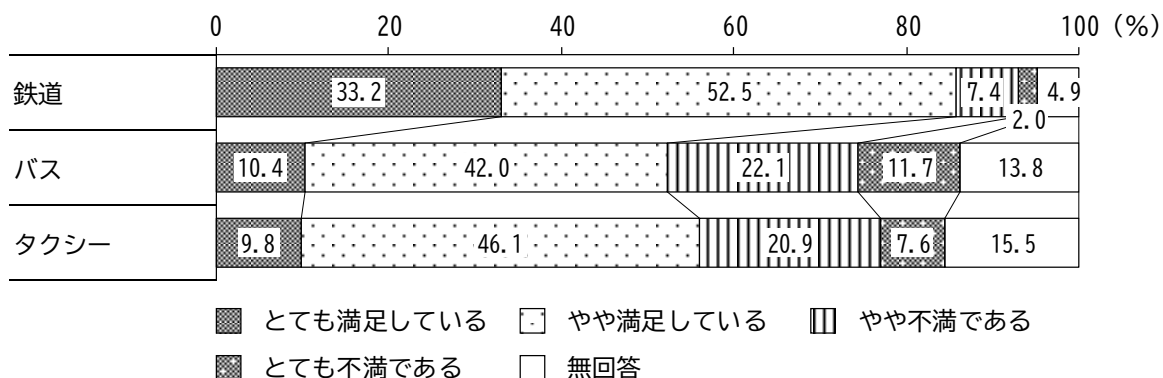


図 4-2 公共交通の満足度 (n=2,529)



5. 景観（風景）について

- 住まいの地区の景観（風景）の満足度は、『満足』（「満足している」と「十分とはいえないが、おおむね満足している」の合計）が約7割。
- 良い景観（風景）のまちをつくるために行政に望むことは、「良好な景観づくりに役立つ公共事業」が5割弱で最も多い。

図 5-1 景観（風景）の満足度 (n=2,529)

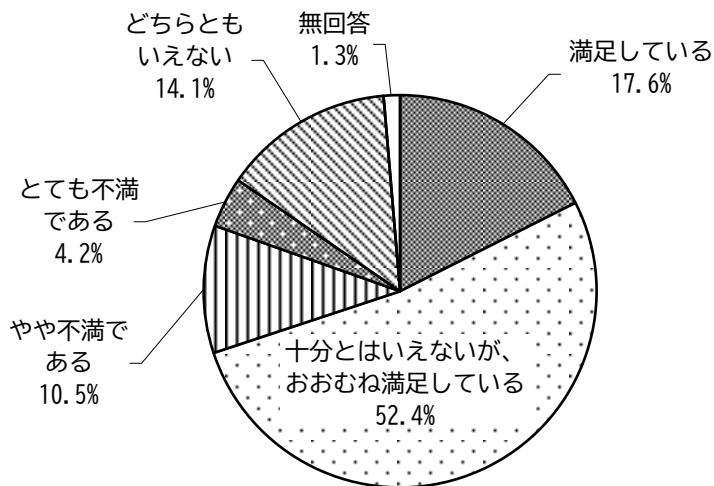
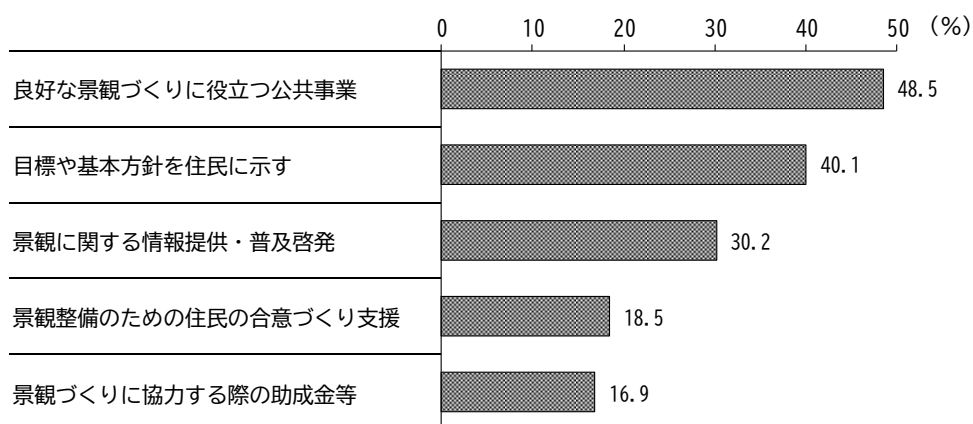


図 5-2 行政に望むこと（上位 5 項目） (n=2,529)



6. 参加と協働のまちづくりについて

- 「参加と協働のまちづくり」の認知度は、『知っている』（「よく知っている」と「まあまあ知っている」の合計）が1割半ば。
- 「参加と協働のまちづくり」を知ったきっかけは、「広報こしがや」が約8割で最も多い。
- 「参加と協働のまちづくり」への参加意向は、『参加したい』（「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」の合計）が3割強。
- 「越谷市自治基本条例」の認知度は、『知っている』（「よく知っている」と「まあまあ知っている」の合計）が1割未満。
- 「越谷市自治基本条例」を知ったきっかけは、「広報こしがや」が7割強で最も多い。
- 「越谷市自治基本条例」の普及・啓発方法は、「広報こしがやへの情報掲載」が6割強で最も多い。

図 6-1 「参加と協働のまちづくり」の認知度 (n=2,529)

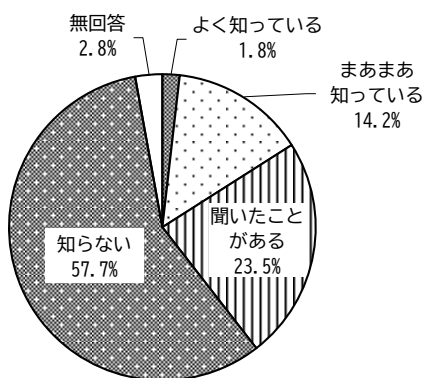


図 6-2 「参加と協働のまちづくり」を知ったきっかけ (上位 5 項目) (n=999)

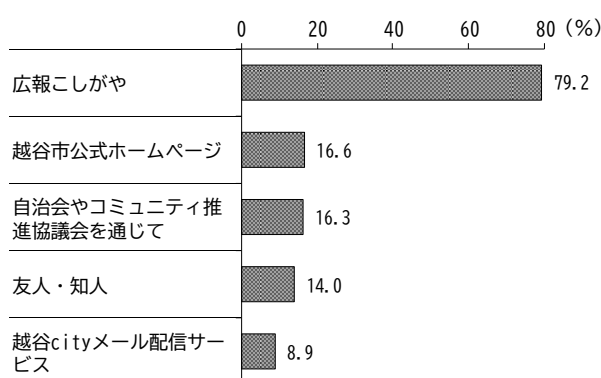


図 6-3 「参加と協働のまちづくり」への参加意向 (n=2,529)

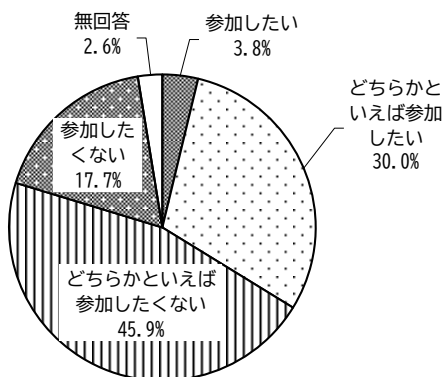


図 6-4 「越谷市自治基本条例」の認知度 (n=2,529)

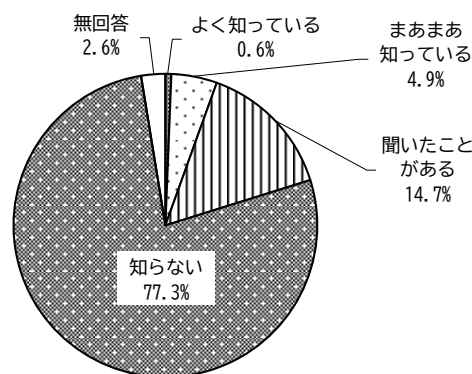


図 6-5 「越谷市自治基本条例」を知ったきっかけ (上位 5 項目) (n=510)

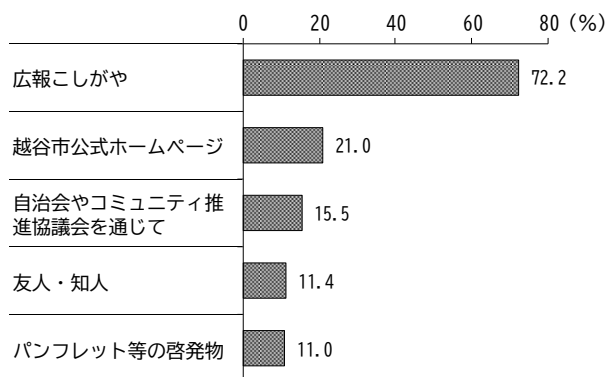
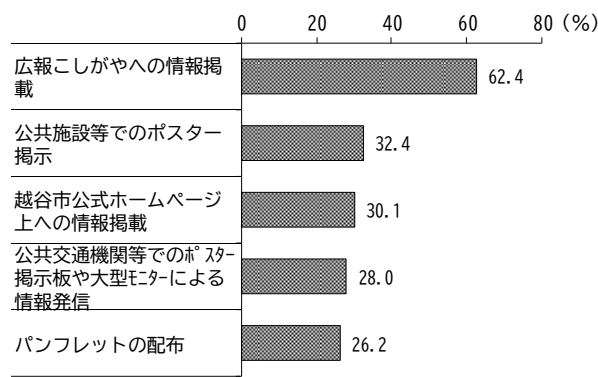


図 6-6 「越谷市自治基本条例」の普及・啓発方法 (上位 5 項目) (n=2,529)



7. 公共施設の今後のあり方について

- 「越谷市公共施設等総合管理計画」の認知度は、『知っている』（「よく知っている」と「まあまあ知っている」の合計）が1割未満。
- 「越谷市公共施設等総合管理計画」についての考えは、『思う』（「そうすべきと思う」と「どちらかといえばそうすべきと思う」の合計）が6割弱。
- PPP/PFI手法についての考えは、『思う』（「そうすべきと思う」と「どちらかといえばそうすべきと思う」の合計）が7割弱。

図 7-1 「越谷市公共施設等総合管理計画」の認知度 (n=2,529)

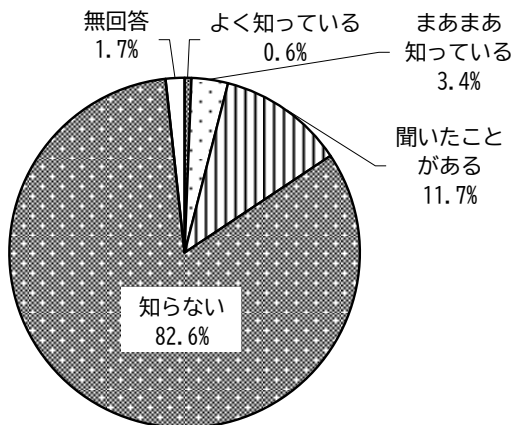


図 7-2 「越谷市公共施設等総合管理計画」についての考え (n=2,529)

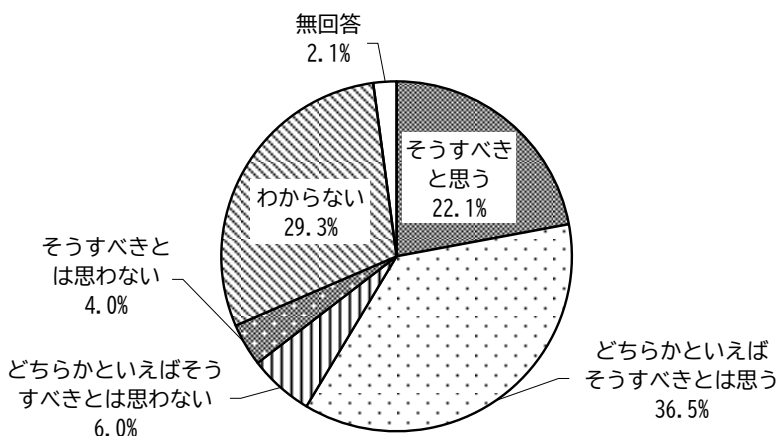
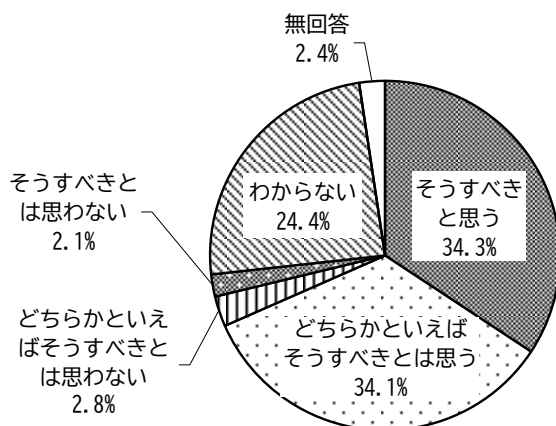


図 7-3 PPP/PFI手法について (n=2,529)



8. 地場農産物や地産地消について

- 越谷市の農業特産物の認知度は、「いちご」が7割強、「ねぎ」が7割弱と多くなっている。
- 越谷市の農業特産物の購入経験は、「ねぎ」が6割半ばで最も多い。
- 購入場所は、太郎兵衛もちや「市民まつりなどイベント」、くわい・山東菜は「農産物直売所」、ねぎ・いちご・チューリップ・小松菜は「市内スーパーマーケット」が多くなっている。

図 8-1 越谷の農業特産物の認知度 (n=2,529)

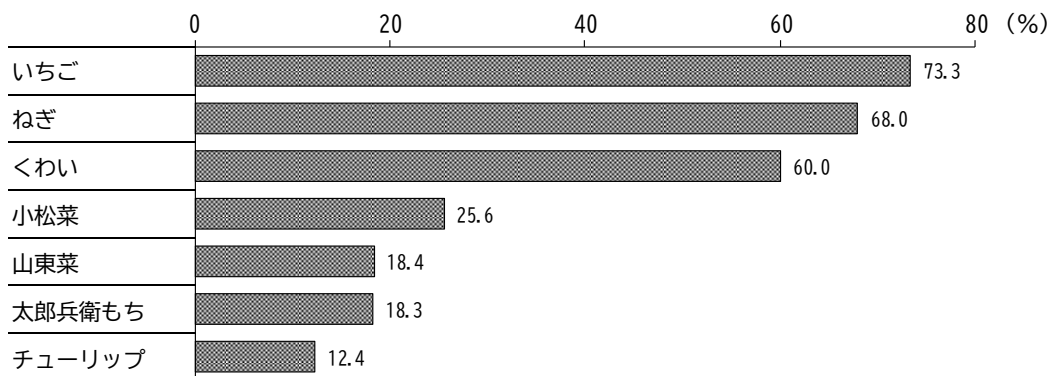
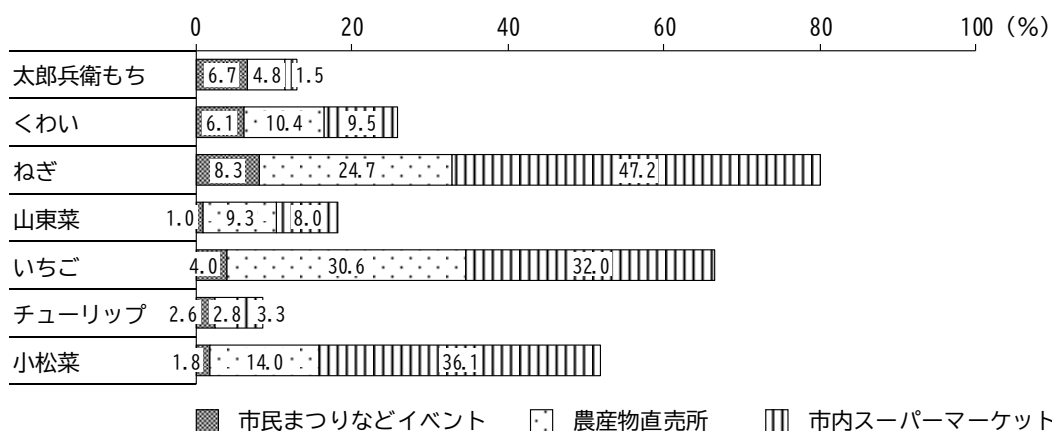
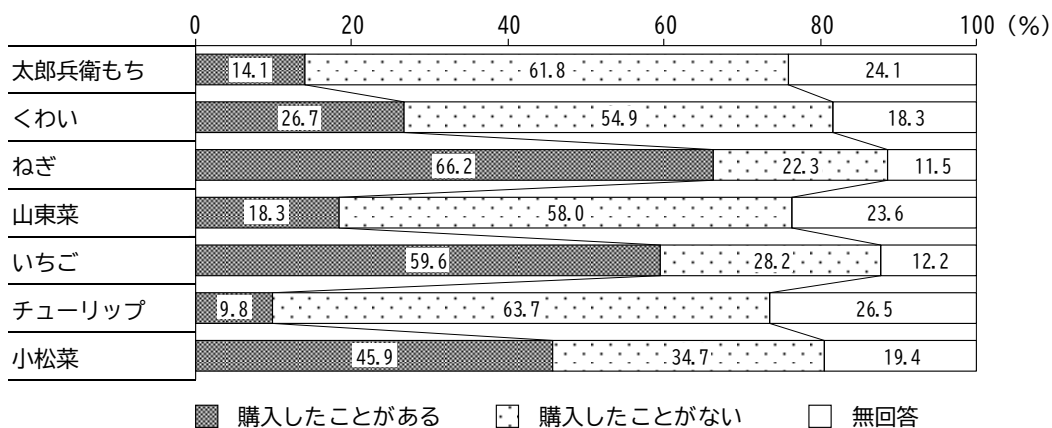


図 8-2 越谷の農業特産物の購入経験・購入場所 (n=2,529)



9. 人権全般に関する意識について

- 今の日本社会において、基本的人権が『尊重されている』（「十分尊重されている」と「やや尊重されている」の合計）と思う人は約6割。
- 10年前と比べた人権意識は、『高くなっている』（「非常に高くなっている」と「やや高くなっている」の合計）と思う人が5割強。
- 関心のある人権問題は、「女性の人権問題」が4割強で最も多い。
- 日常生活の中で人権が侵害されたと感じたことが「ある」は2割、「ない」は5割半ば。
- 人権侵害を感じた内容は、「あらぬ噂を立てられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が約5割で最も多い。

図 9-1 基本的人権の意識 (n=2,529)

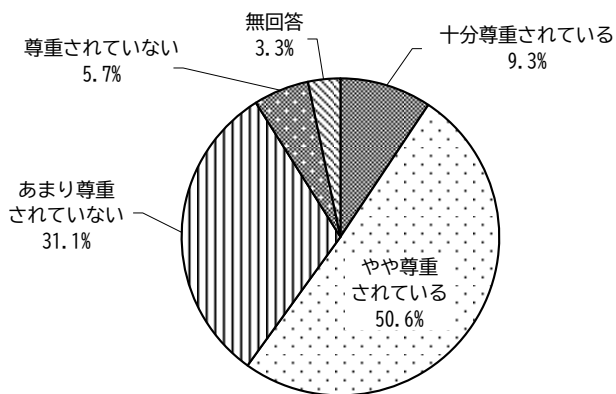


図 9-2 人権意識の変化 (n=2,529)

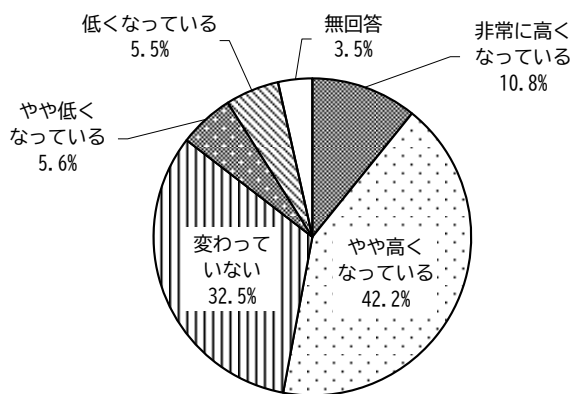


図 9-3 関心のある人権問題 (上位5項目) (n=2,529)

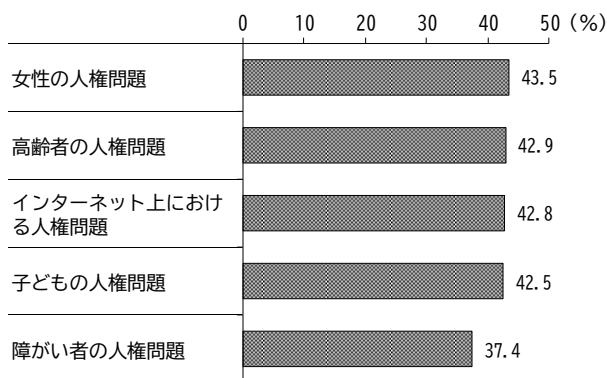


図 9-4 人権侵害を感じたこと (n=2,529)

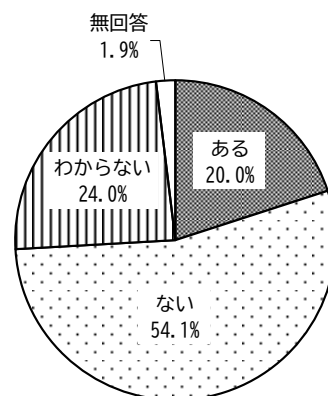
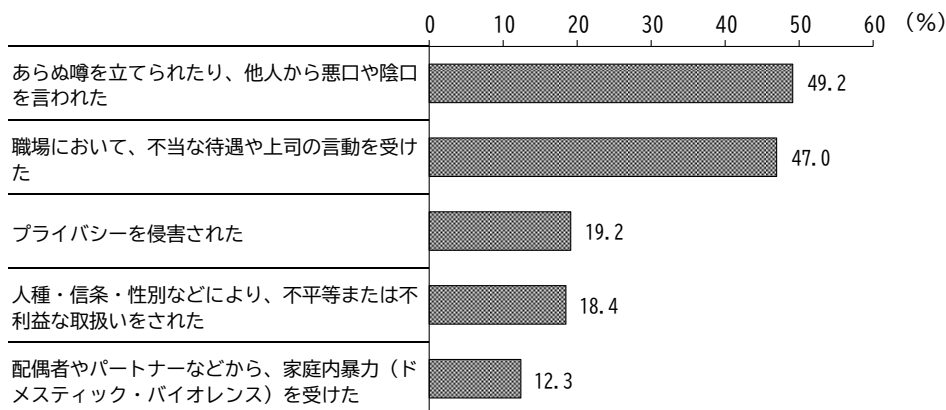


図 9-5 人権侵害を感じた内容 (上位5項目) (n=506)



10. 男女共同参画について

- 男女共同参画における「ことば」や「ことがら」の認知度について、「内容を知っている」は「DV（ドメスティック・バイオレンス）」が6割強で最も多い。
- 「男は仕事、女は家庭」という考え方の賛否については、『反対』（「どちらかといえば反対」と「反対」の合計）が6割強。
- 男女平等の考えについて、「平等になっている」は「教育の中で」が約3割、「平等になっていない」は「社会通念や風潮において」が5割半ばで最も多い。
- 理想とする女性の働き方については、「結婚や出産にかかわらず仕事を続ける（ている・ていた）」が3割半ばで最も多い。
- 現実の女性の働き方については、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける（ている・ていた）」が3割強で最も多い。
- 仕事をしていく上で、能力に男女差があると思うかについては、「あると思う」が3割半ば、「そうは思わない」が約5割。

図 10-1 「ことば」や「ことがら」の認知度 (n=2,529)

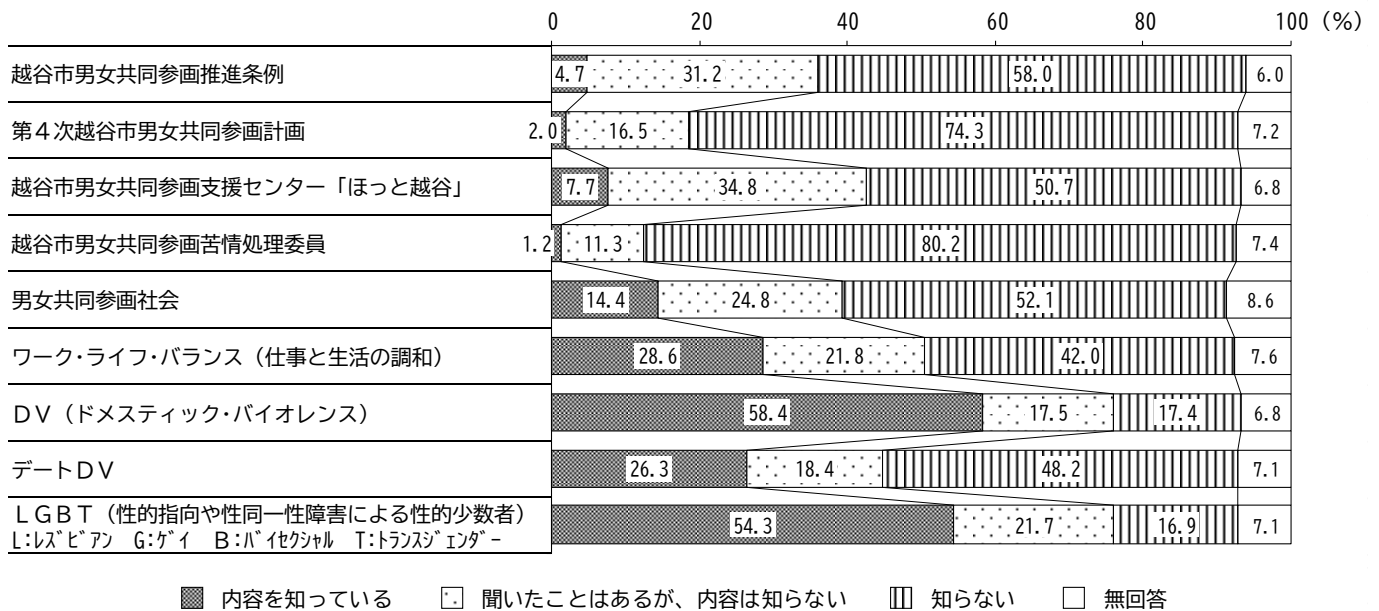


図 10-2 「男は仕事、女は家庭」という考え方の賛否 (n=2,529)

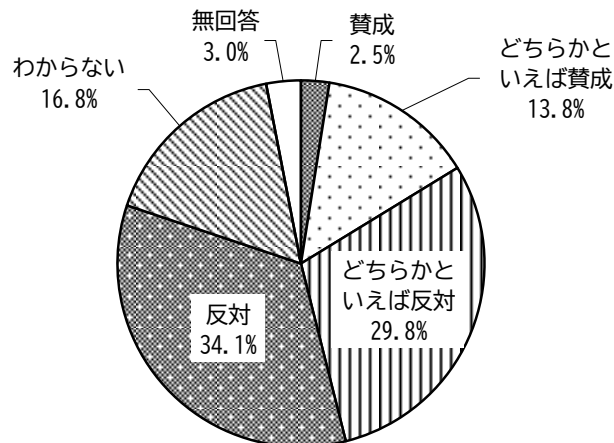


図 10-3 各分野での男女平等 (n=2,529)

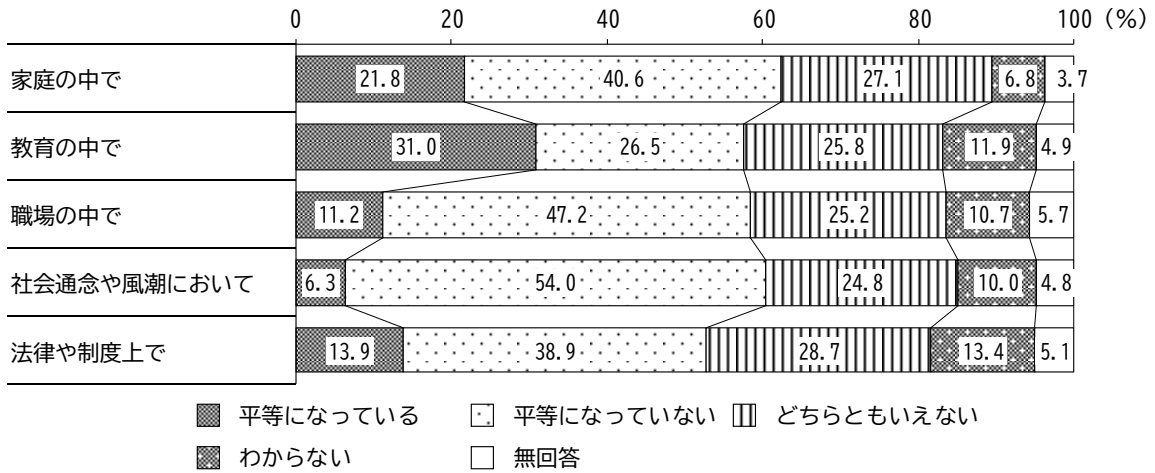


図 10-4 女性の働き方 (理想) (上位 5 項目)
(n=2,529)

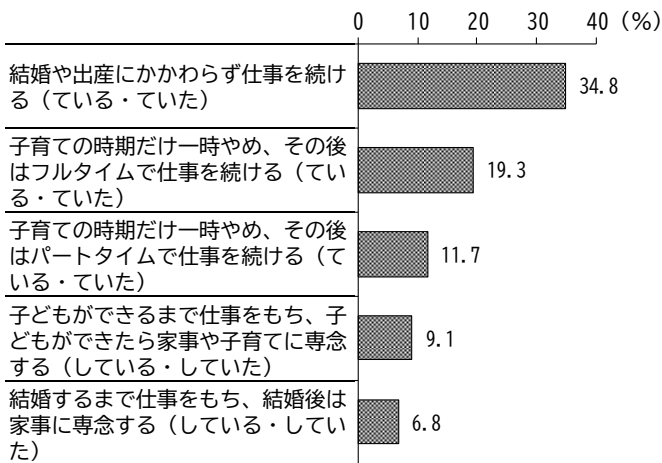


図 10-5 女性の働き方 (現実) (上位 5 項目)
(n=2,529)

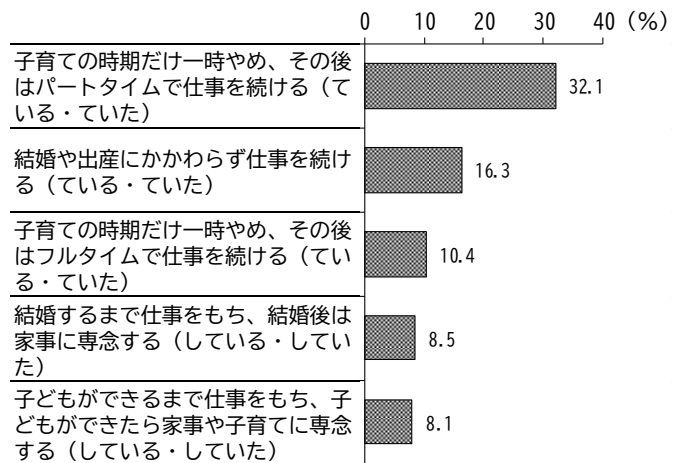
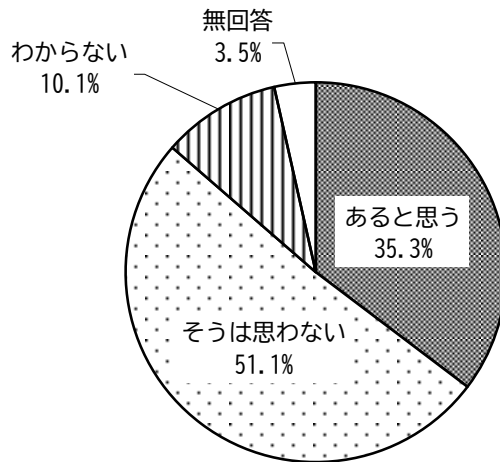


図 10-6 仕事上での男女別能力差 (n=2,529)



11. 平和事業について

- 越谷市の平和都市宣言の認知度については、「知っている」が3割半ば。
- 越谷市主催「平和フォーラム」の認知度については、『知っている』（「知っており、参加したことがある」と「知っているが、参加したことがない」の合計）が2割半ば。
- 平和への意識を高めるために効果的な事業については、「平和を題材にした、映画・アニメーション上映会の開催」が約5割で最も多い。

図 11-1 越谷市の平和都市宣言の認知度 (n=2,529)

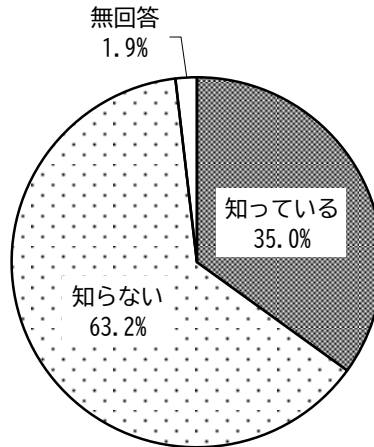


図 11-2 越谷市主催「平和フォーラム」の認知度 (n=2,529)

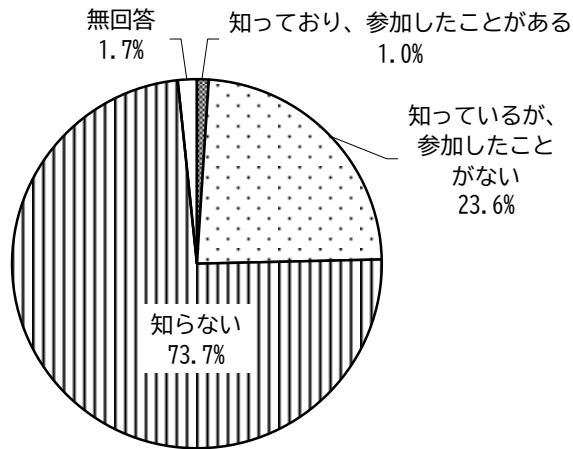
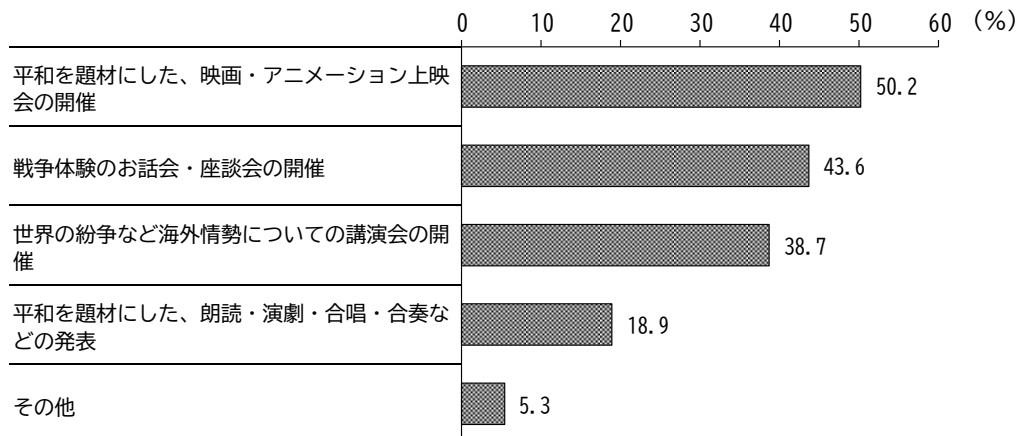


図 11-3 平和への意識を高めるために効果的な事業 (n=2,529)



12. 市民相談や法律相談などの各種相談窓口について

- 各種相談窓口の認知度について、「知っている」は「市民相談〔日常生活全般における相続、離婚などの民事関係の相談〕」が5割弱で最も多い。
- 各種相談窓口の利用意向について、「利用したい」は「消費生活相談〔悪徳商法、商品やサービスの契約トラブルなどの相談〕」が8割弱で最も多い。
- 各種相談窓口での相談方法については、「対面による相談」が8割弱で最も多い。

図 12-1 各種相談窓口の認知度 (n=2,529)

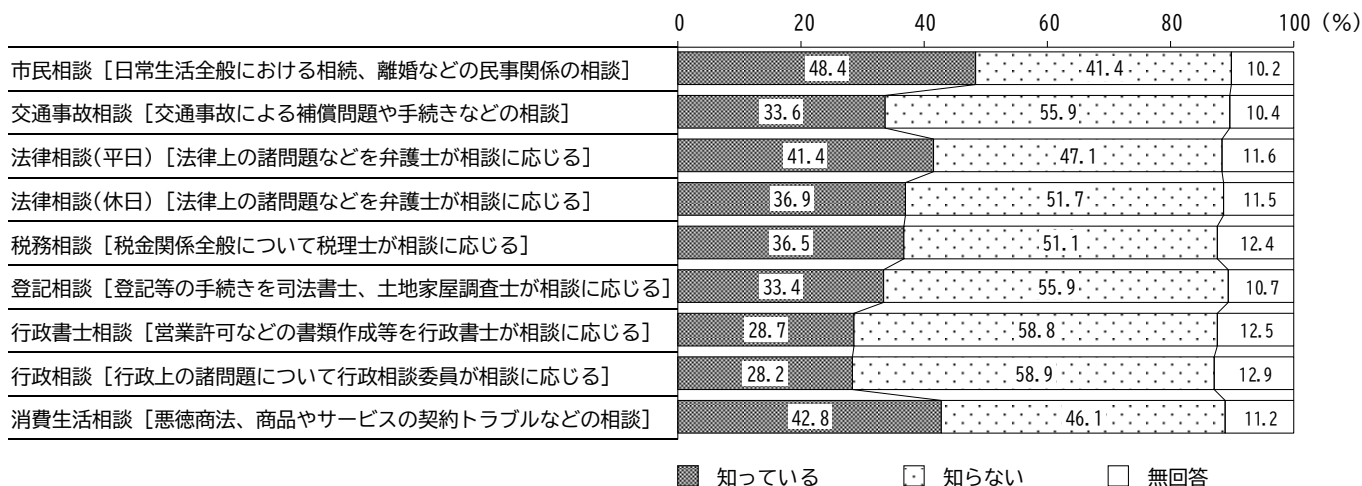


図 12-2 各種相談窓口の利用意向 (n=2,529)

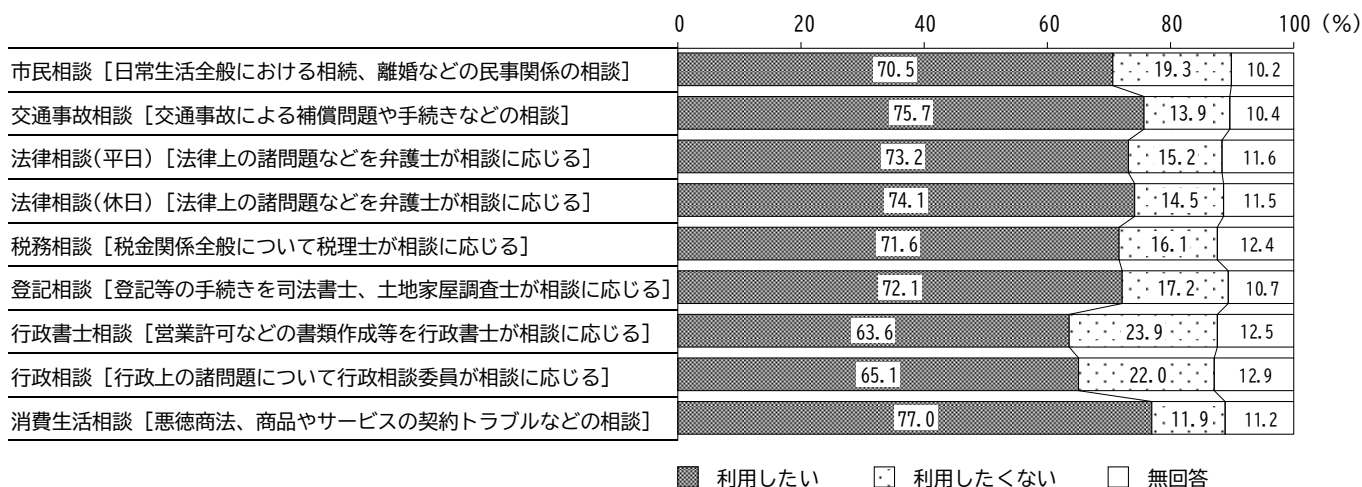
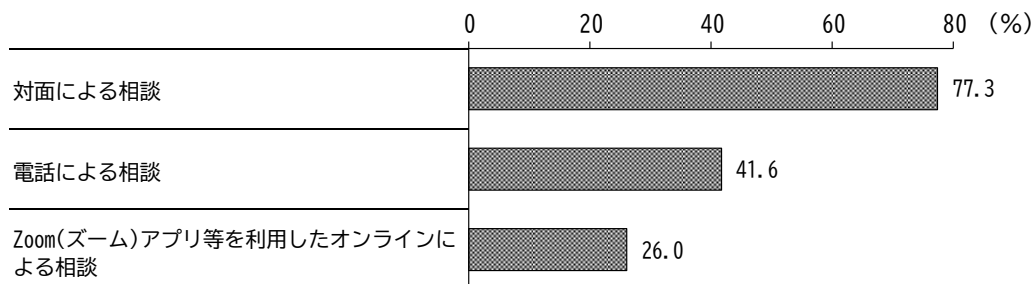


図 12-3 各種相談窓口での相談方法 (n=2,529)



13. 地域医療体制について

- 地域医療体制の認知度は、「越谷市夜間急患診療所」が約8割、「休日当番医制度」が8割弱、「埼玉県救急電話相談（＃7119）」が6割弱、「埼玉県A I 救急相談」が1割半ば。
- 医療機関の情報の入手方法は、「インターネットで調べる（越谷市・埼玉県公式ホームページを除く）」が約5割で最も多い。
- 特に力を入れる必要がある地域医療関連事業は、「夜間急患診療所」が5割半ばで最も多い。

図 13-1 地域医療体制の認知度 (n=2,529)

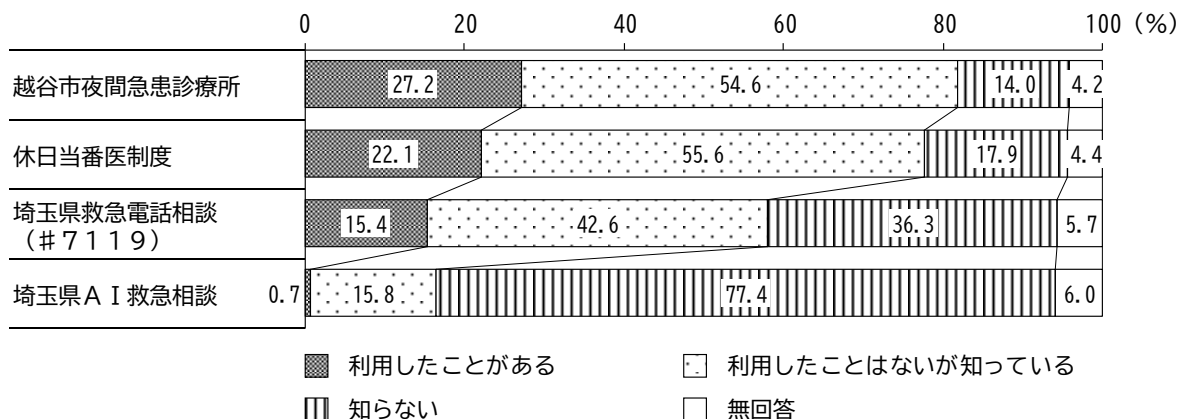


図 13-2 医療機関の情報の入手方法 (上位5項目) (n=2,529)

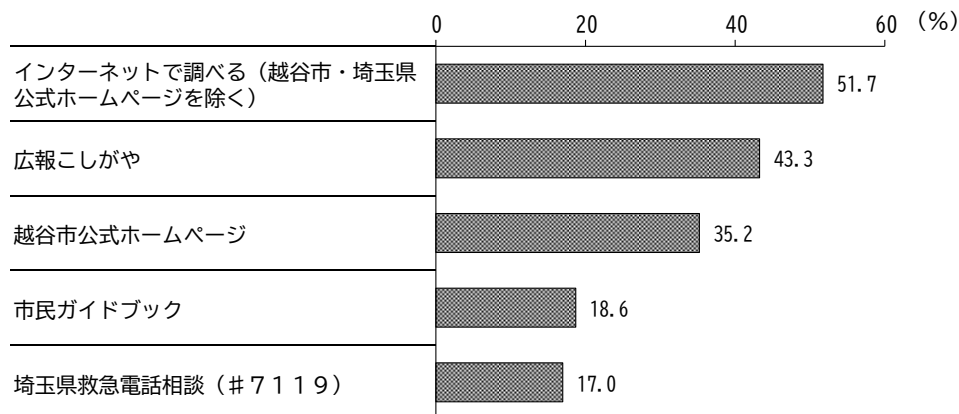
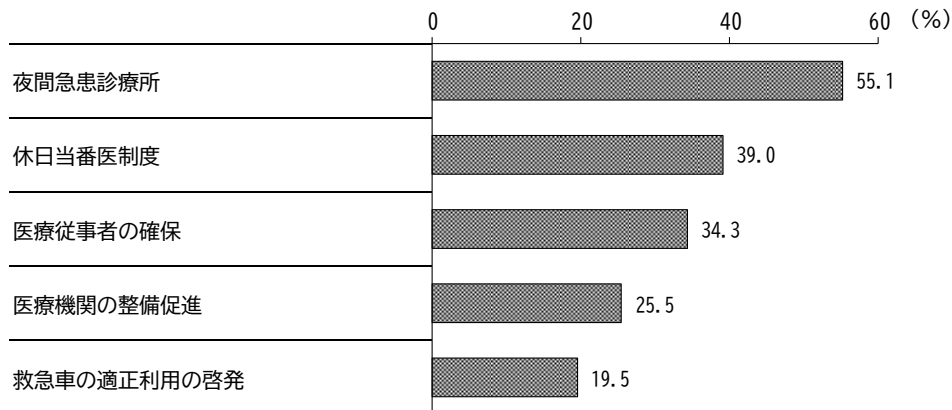


図 13-3 特に力を入れる必要がある地域医療関連事業 (上位5項目) (n=2,529)



14. 路上喫煙について

- 喫煙の有無については、「吸う」が1割強、「吸わない」が8割半ば。
- 駅前など人通りの多い場所に灰皿を設置する必要性については、「必要があると思う」が4割弱、「必要はないと思う」が約6割。
- 他の駅前を路上喫煙禁止区域に指定する必要性については、「必要があると思う」が8割弱、「必要はないと思う」が約2割。
- 「路上喫煙禁止区域」内に灰皿等を設置する必要性については、「必要があると思う」が3割半ば、「必要はないと思う」が6割強。

図 14-1 喫煙の有無 (n=2,529)

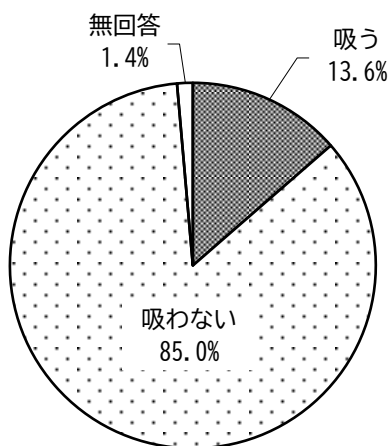


図 14-2 灰皿設置の必要性 (n=2,529)

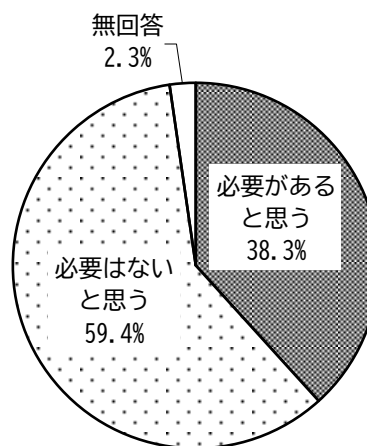


図 14-3 「路上喫煙禁止区域」追加の必要性 (n=2,529)

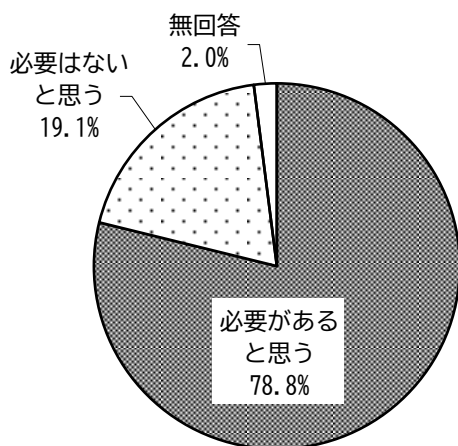
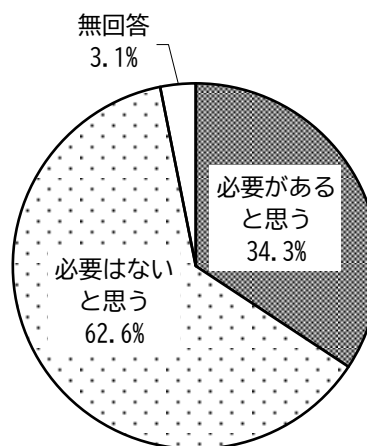


図 14-4 「路上喫煙禁止区域」内への灰皿等設置の必要性 (n=2,529)



15. 健康保険が行う健診について

- 加入保険については、「被用者保険」が約4割で最も多い。
- 健康診査受診の有無は、「受けた」が約5割、「受けていない」が4割半ば。
- 健康診査を受けない理由は、「既に医療機関に通院していたため」が5割弱で最も多い。

図 15-1 加入保険 (n=2,529)

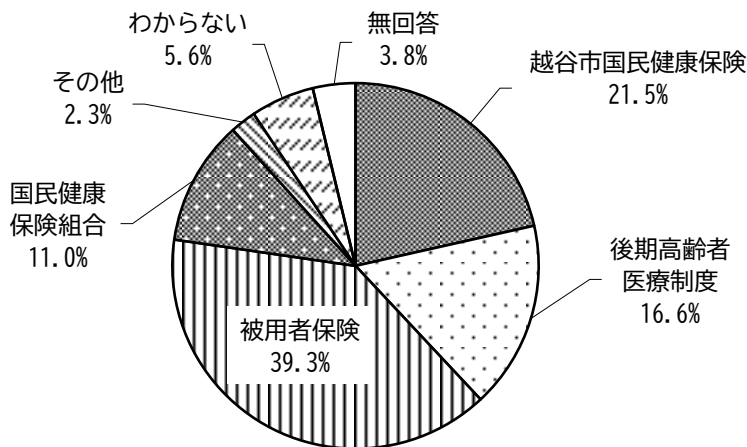


図 15-2 健康診査受診の有無 (n=962)

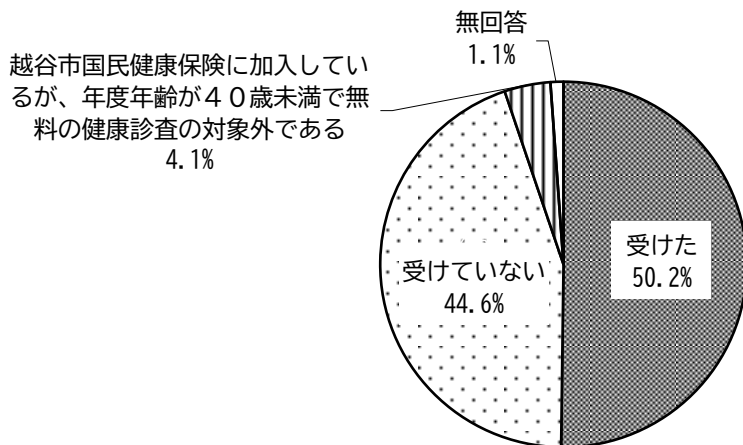
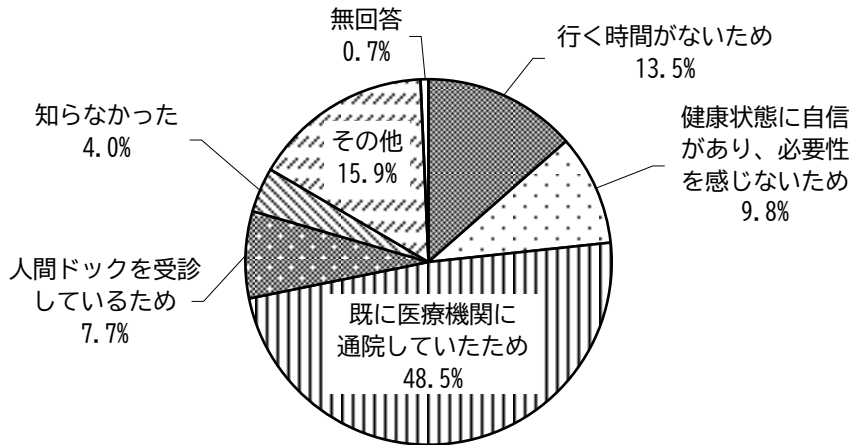


図 15-3 健康診査を受けない理由 (n=429)



16. 介護サービスについて

- 介護サービスの利用時に求める事業の形態については、「地域に密着した事業展開をしている施設（市内在住者のみ利用できる施設）」が4割弱で最も多い。
- 介護サービスの利用時に求める事業所の体制については、「従事者のスキル向上や知識の取得に力を入れている」が6割弱で最も多い。
- 介護サービスの利用時に求める従事者の資質については、「利用者の話をしっかり聞く」が5割半ばで最も多い。

図 16-1 事業の形態 (n=2,529)

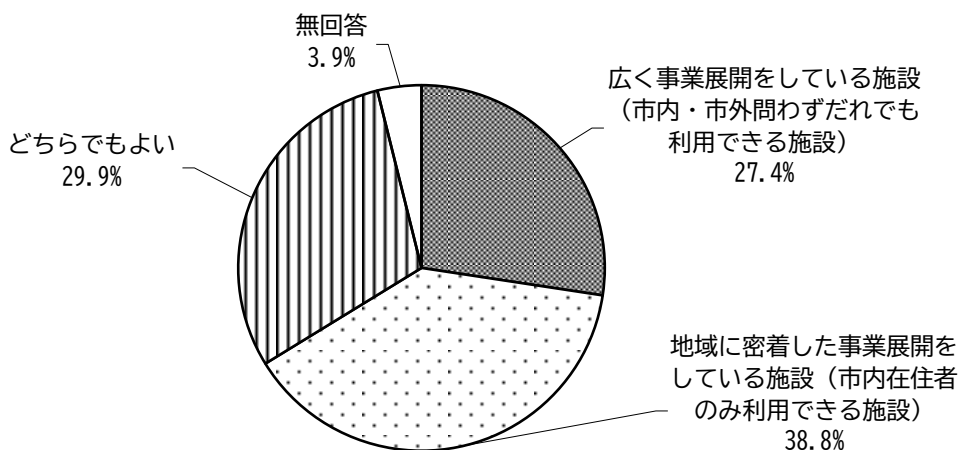


図 16-2 事業所の体制 (n=2,529)

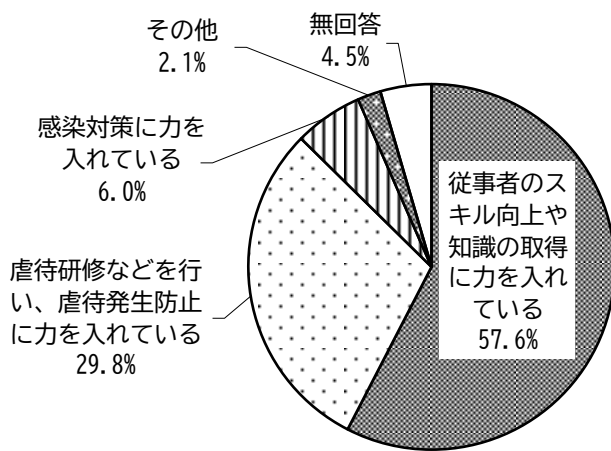
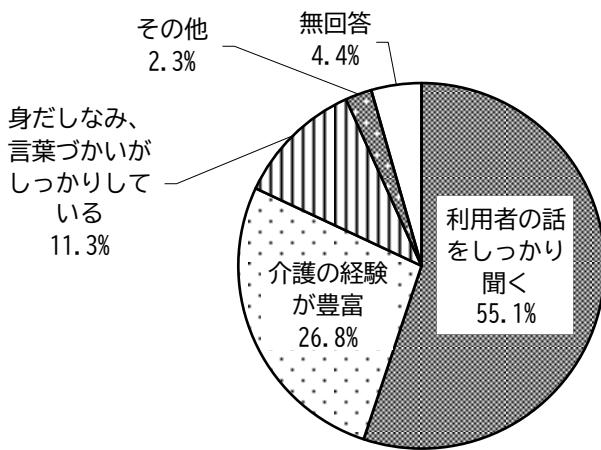


図 16-3 従事者の資質 (n=2,529)



17. ケアラー・ヤングケアラーについて

- 「ケアラー」「ヤングケアラー」の認知度については、『知っている』（「知っている」と「ある程度知っている」の合計）が6割強。
- 「ケアラー」「ヤングケアラー」を知ったきっかけについては、「テレビ」が約8割で最も多い。
- 「家族等のケアで困っている」人の有無については、「いない」が4割半ばで最も多い。
- 「家族等のケアで困っている」人への支援意向は、手助けしたいと『思う』（「思う」と「やや思う」の合計）が8割弱。

図 17-1 「ケアラー」「ヤングケアラー」の認知度
(n=2,529)

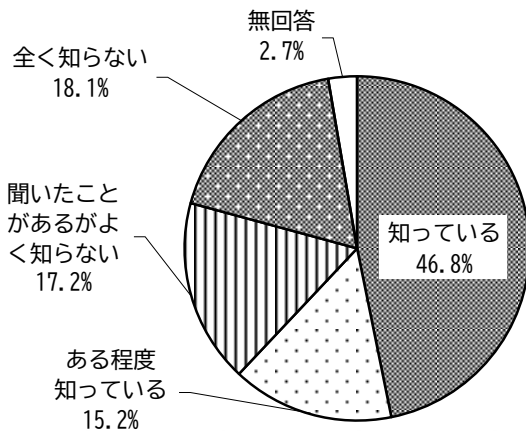


図 17-2 「ケアラー」「ヤングケアラー」を知ったきっかけ (上位 5 項目)
(n=1,568)

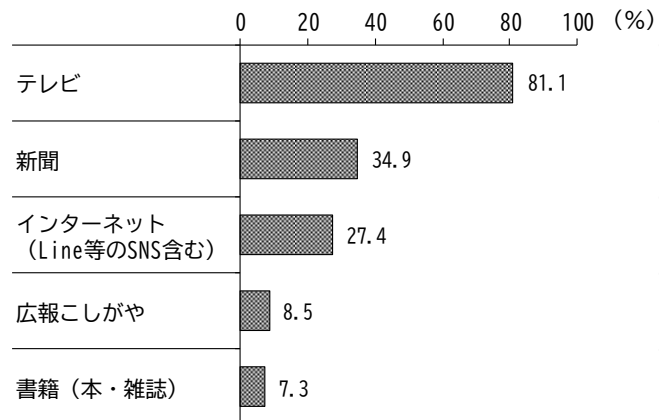


図 17-3 「家族等のケアで困っている」人の有無
(n=2,529)

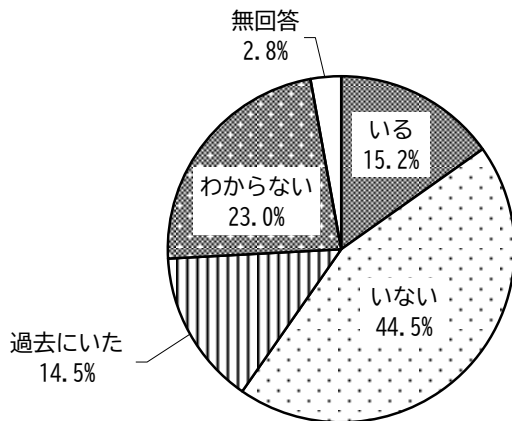
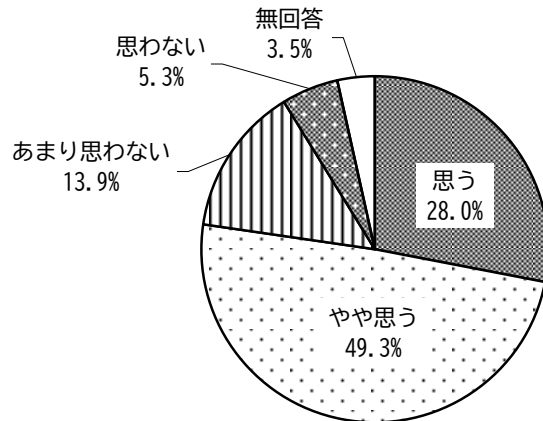


図 17-4 「家族等のケアで困っている」人への支援意向 (n=2,529)



18. 防犯対策について

- 自宅の防犯対策で、行っているものは、「車にドライブレコーダーを設置している」が4割強で最も多い。
- 自治会や地域で行われている防犯活動で知っているものは、「子ども 110 番の家」が5割半ばで最も多い。
- 自宅付近への街頭防犯カメラ設置については、「安心感が増すので設置してほしい」が約7割で最も多い。

図 18-1 自宅の防犯対策 (n=2,529)

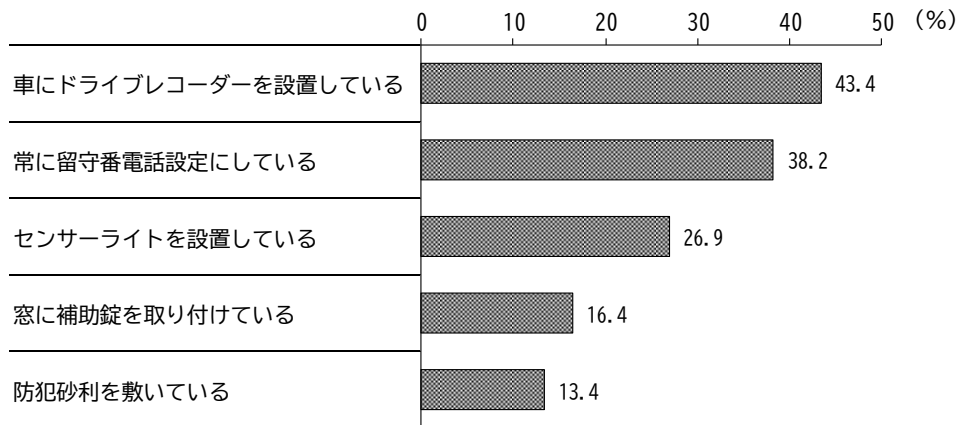


図 18-2 自治会や地域で行われている防犯活動で知っているもの (n=2,529)

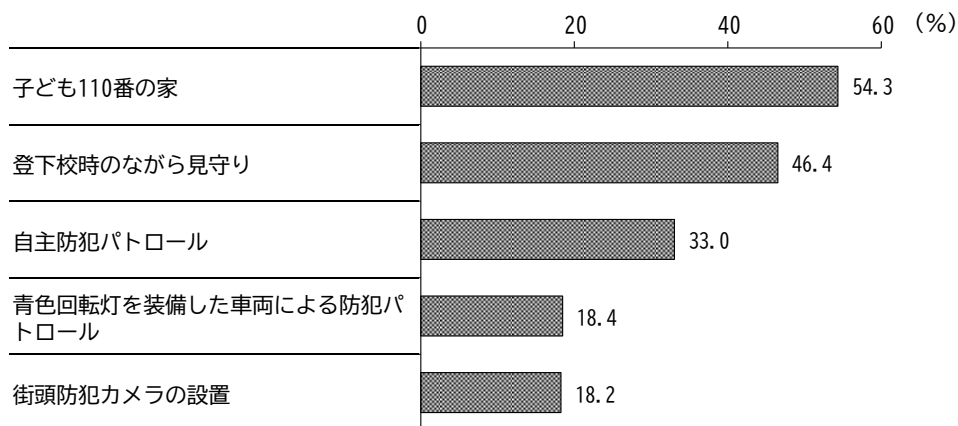
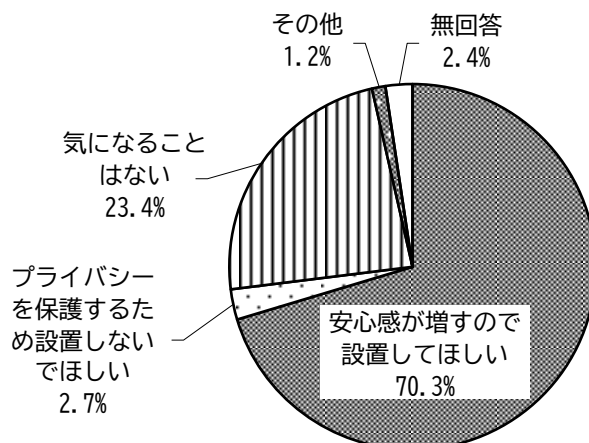


図 18-3 自宅付近への街頭防犯カメラ設置について (n=2,529)



19. スポーツ・レクリエーションの実施状況について

- この1年間のスポーツ・レクリエーション活動の実施状況は、『週1回以上』（「週に3回以上」と「週に1～2回程度」の合計）が4割半ば。
- 活動を行った主な理由は、「運動不足解消」が約7割で最も多い。
- 活動を行っていない理由は、「仕事（家事、育児も含む）や勉強が忙しいから」が4割で最も多い。
- 今後、行ってみたい活動は、比較的軽いスポーツが「ウォーキング」、野外活動が「ハイキング」、競技的スポーツが「バドミントン」で最も多い。

図 19-1 スポーツ・レクリエーション活動の実施状況 (n=2,529)

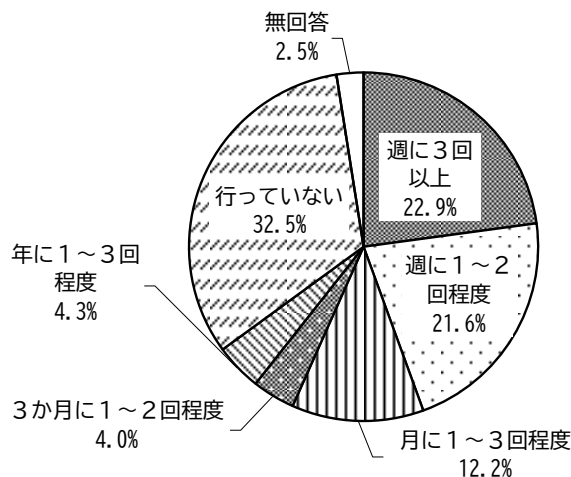


図 19-2 スポーツ・レクリエーション活動を行った主な理由 (上位5項目) (n=1,643)

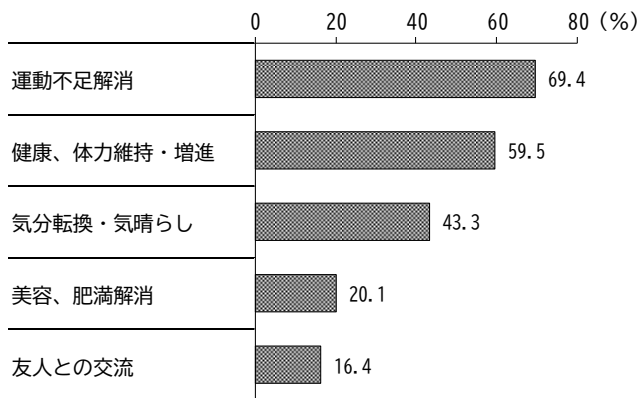


図 19-3 スポーツ・レクリエーション活動を行っていない理由 (上位5項目) (n=823)

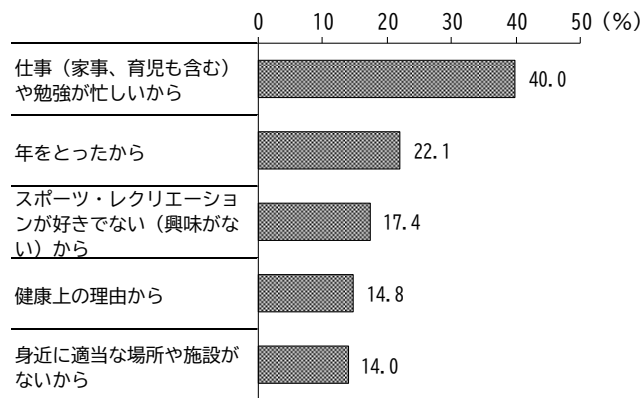
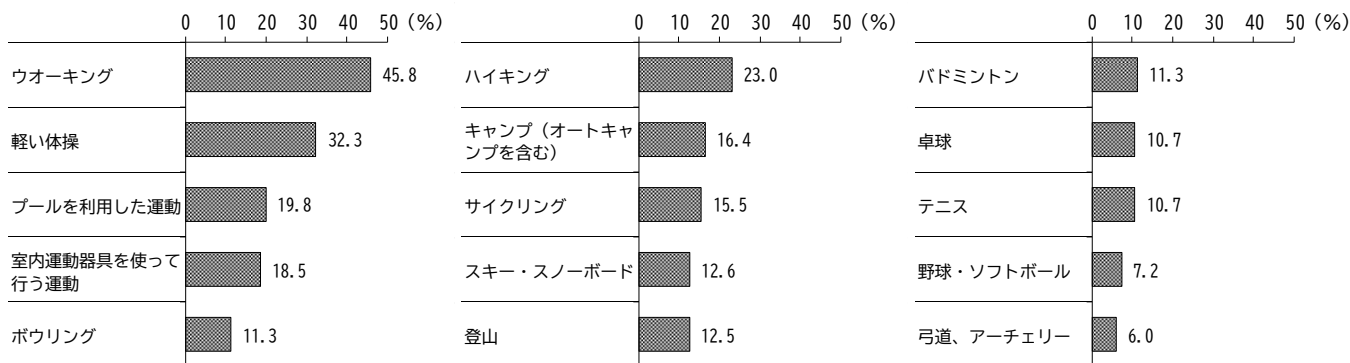


図 19-4 今後、行ってみたいと思うスポーツ・レクリエーション活動 (上位5項目) (n=2,529)

—比較的軽いスポーツ—

—野外活動—

—競技的スポーツ—



20. 越谷市の施策について

- 市の施策について、ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」は、「駅周辺の整備」が3割弱で最も多い。
- 今後の市政の中で「特に力を入れるべきだと思われるもの」は、「水害や地震などの災害対策」が3割半ばで最も多い。

図 20-1 よくなってきたと感じるもの
(上位 10 項目) (n=2,529)

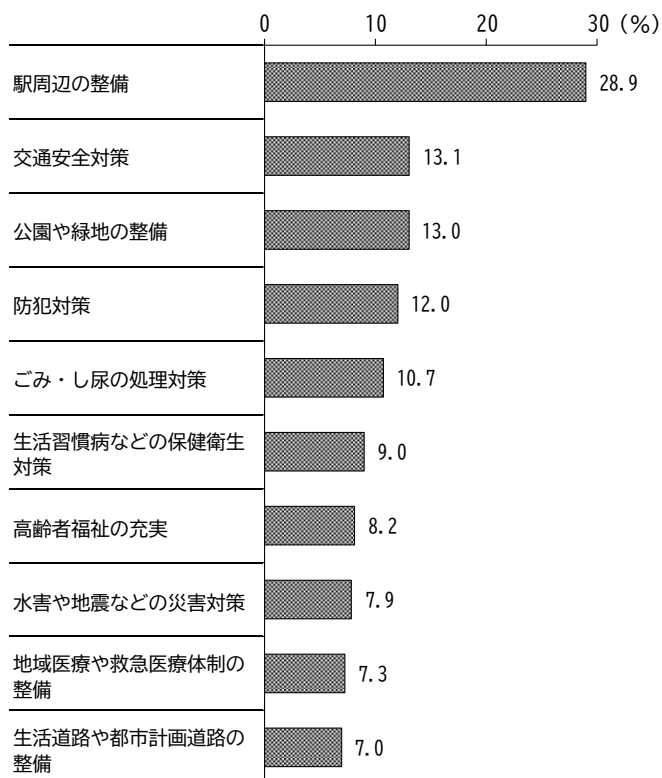
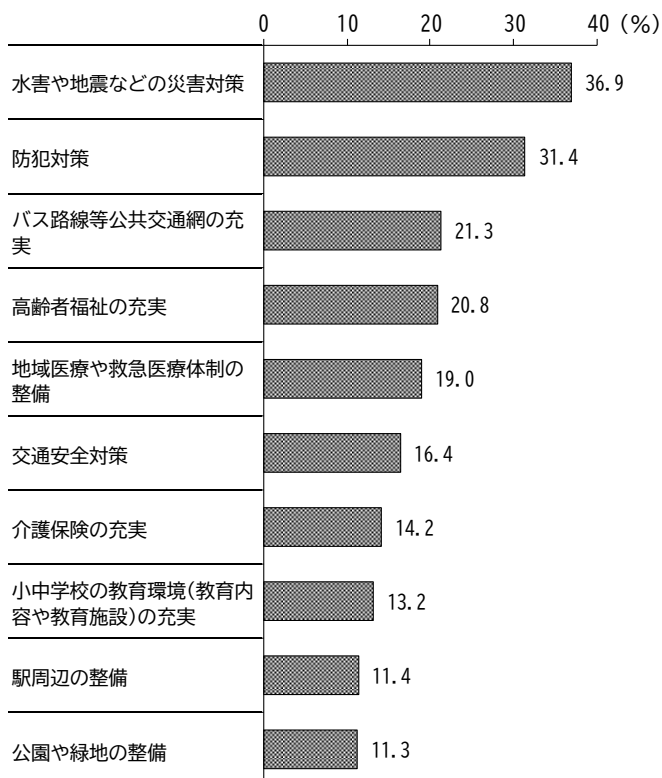


図 20-2 特に力を入れるべきだと思われるもの
(上位 10 項目) (n=2,529)



令和5年度 市政世論調査結果報告書

令和5年11月

発行：越谷市 市民協働部 暮らし安心課
〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
電話 048(963)9336(直通)

調査実施：株式会社 物流科学研究所
〒330-0052 さいたま市浦和区本太2-2-36
SUNCREST 302
電話 048(887)3790
